

導入事例  
てれたっち

## 準備時間の削減に成功! 児童の反応に合わせた臨機応変な対応も! プレゼンソフトだと一方通行になりがちな授業を改善できました。



橋本市立境原小学校は、生徒数全71名という和歌山県の小規模校です。同校では、誰もが意見を言える教室作りのために「てれたっち」を活用し、児童の意欲向上に成功されているということです。6年生を担当する平垣内崇人先生と、橋本市教育委員会事務局学校教育課・川原一真主任指導主事にお話を伺いました。

※先生のご紹介、学校での設置状況などは取材当時のものです。



※ディスプレイは別売りです。

導入商品

外付け型タッチ化ユニット  
「てれたっち」

DA-TOUCH / WB

### 自分の発言をきっかけに授業が盛り上がり、さらに高め合うという体験ができる

以前からプレゼンソフトを活用した授業をされていると伺いました。  
「てれたっち」の導入で、さらに内容がレベルアップしたそうですね。

**平垣内先生:**本来、授業というものは一本道ではなく、児童の気付き、例えば小さなつづやきなどをきちんと拾いながら、臨機応変に広げていくべきものです。しかし、プレゼンソフトは基本的に双方向の対話を想定しておらず、筋書き通りに話を進めることしかできません。そこに「てれたっち」があると、誰かが意見を言った時、すぐに画面に書き込むことができ、それに対してほかの児童からも意見が出て、話がぐんと広がるんです。例えば「わからない」という一言があったら、クエスチョンマークを画面に1つ書き加えてあげるだけでも、「ここについて考えよう」という意識付けができますよね。ちょっとしたことでも、教員が画面上にメモとして残してあげることに意味があります。



プレゼンソフトで教材を自作



大事な場所に自分で書き込み

**川原指導主事:**「てれたっち」のよいところは、デジタルツールなので間違えてもすぐに消したり、戻したりすることができる点です。後から友だちや先生が内容を補って書き加えることもできますから、むしろ間違えてもいいのです。20%、30%という段階の答えでもいい。それを元に意見を出し合い、皆で高めていくことができます。「てれたっち」は、たとえ間違っている、その発言をきっかけに授業を盛り上げ、さらに話し合っって高め合うという素晴らしい体験を提供してくれました。

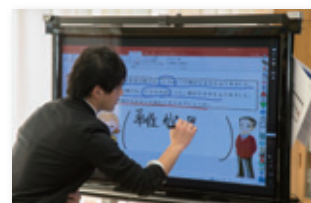
**平垣内先生:**児童に気付きを与えること、わからない顔をしている時の対応など、授業には多くの引き出しが必要です。子どもたちの反応に合わせて臨機応変に対応できる「てれたっち」を使ってあげると、誰もが意見を言いやすい環境が作れます。そして、自分のつづやきから話が盛り上がると、「言ってよかった」「考えを声に出していいんだ」という気持ちになり、それまで受身だった児童が変わっていきます。児童が授業で消極的になる一因として、失敗を恐れるという面もありますから、失敗に対するハードルを上げてあげることも大切です。

### 「あったらいいな」が現実になる、「便利な道具」の1つとして

ICT機器の導入と先生方の業務について、お考えがありましたら教えてください。

**平垣内先生:**私個人としてはICTのような新しいものを取り入れたいという気持ちは強いですが、先生方の中には、「ICTは難しい」「使いこなせないのでは」と不安を感じる方もいると思います。児童だけでなく、教員側にも失敗を恐れる心があるかもしれません。

**川原指導主事:** ICT化はあくまで1つの手段ですから、それを使うことを目的にするのは本末転倒です。操作を憶えたり、対応する教材を作ることに先生方の時間が割かれてしまうのは、好ましいとはいえません。こうした観点では、独自ソフトなどが必要なく、直感的ですぐに使える「てれたっち」は、多様な人材が集う学校という場に適した製品と感じます。難しく考えず、現場の先生方が日頃感じている「できたらいいな」を実現する「便利な道具」の1つとして、気軽にとらえてくれたらと思っています。



反応に合わせて臨機応変に

「てれたっち」や教育のICT化について、感想などがありましたらお聞かせください。

**川原指導主事:** 知識を身につけることはもちろんですが、学びに向かう意欲を高めることも重要です。しかし意欲というものは、教員が教えて身に付くものではありません。いかに勉強した内容を面白いと感じ、楽しみながら学べるかが重要なのです。「てれたっち」は、自分の考えを伝え、友だちと協力して解を導く楽しさを実感できるツールですね。授業中にも臨機応変な対応ができ、「できた!」という経験を児童たちに与えてあげることのできる、価値あるツールだと思っています。今後もぜひ活用していきたいです。

#### 取材にご協力いただいた先生

橋本市教育委員会事務局 学校教育課  
川原一真 主任指導主事橋本市立境原小学校  
平垣内 崇人 先生

CLIENT DATA

導入学校 / 橋本市立境原小学校  
所在地 / 和歌山県橋本市  
設立 / 1909年